

やり切った君へ

次の挑戦は

5月29日(金)は好天に恵まれ、グラウンドは終始、活気にあふれていました。今年はブロック対抗で競ったこともあり、応援席は割れんばかりの声援と熱気に包まれ、観覧に訪れた保護者・地域の皆さんにも沖田中学生のパワーが伝わる体育祭となりました。

さて、次は学習に力を入れる番です。3年生は早くも6月5日(金)に学力定着度診断テストが行われ、定期考査は16日(火)から18日(木)まで9教科で実施されます。1年生、2年生の定期考査(5教科)は6月17日(水)・18日(木)に控えています。

皆さんは「テスト」は何のために受けると考えていますか。試験が終わって採点された答案が戻ってきたときに良い結果であれば嬉しい…けれど、そのために受けているわけではありませんね。答案にはそれまでに学習してきたことが、自分のものになっている(定着している)かが点数になって表れます。どこの勉強が足りなかったのか、試験前の勉強方法がそれでよかったのか振り返ることができます。

まずはしっかりと準備(試験勉強)をして臨む必要があります。そのために学習習慣つまり自分で計画的に勉強する力をつけることはとても大切です。先日、八幡南高校の先生が3年生のために進路講話をしてくださいました。1年生、2年生の皆さんにも参考になる内容でしたので、許可をいただいてその一部を下に紹介します。

沖田中だより

北九州市立沖田中学校
校長室通信
第3号
校長 安部朋恵

試験前だけ勉強するではありません！

家庭での学習習慣をつける6つのポイント

1 毎日決まった時間に勉強する

家にいるときには、〇時から〇時までには必ず勉強するという時間を決めましょう。部活動や習い事で帰宅時間が異なる場合でも、〇時までには勉強する…と決めておきましょう。

2 短時間でも毎日継続する。

その日の体調や急な用事により、決めた時間だけ勉強できない場合もあるでしょう。そんな日は勉強時間を短くすることも仕方なし。ノートを見返すだけ、教科書を読むだけでも勉強です。

また、これまで全く家庭学習をしていなかった人が、いきなり毎日1時間も2時間も継続して勉強し続けるのは難しいものです。まずは30分机に向かうことから始めましょう。

3 復習を習慣にする

授業で学んだことは、その日のうちに復習しましょう。人間は時間がたつとどんどん忘れてしまいます。それを食い止めるためには、その日のうちに復習するのが最も効率が良いのです。

4 宿題はその日のうちにすませる

宿題をすることは復習につながります。その教科の授業が明日なくても、宿題が出たその日のうちにすませておきましょう。

5 スマホやゲームをする時間を制限する

楽しいことをやっていると、ついつい勉強が後回しになってしまいます。あらかじめ「スマホやゲームは〇分で止めて、勉強にとりかかると決め、アラームをかけるなどやることを切り替える工夫をしておきましょう。

6 小さな成功体験を積み重ねる

「今日は決めていた時間だけ勉強できた」「ワークが予定よりはかどった」「小テストで満点をとれた」など、一つ一つは小さな成功の体験かもしれません。しかし、そんな小さなことが積み重なれば積み重なるほど、その人の中の自信は大きくなります。毎日勉強した後に振り返って「これができた!」と自分の成長を確認しましょう。『千里の道も一歩から』です。

